

総合教育センターだより

秋田県総合教育センター

〒010-0101
南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76
TEL 018(873)7200(代表)
FAX 018(873)7201
ホームページアドレス
<http://www.akita-c.ed.jp>

すこやか電話相談 018(873)7206
〃 0120-37-7804(フリーダイヤル)
インターネット接続 018(872)1065
ヘルプデスク 018(873)7210

平成14年3月11日発行 第83号



第16回秋田県教育研究発表会

盛況のうちに終わる

— 教育研究発表会 Data —

- 総参加者数：1176名
 - 発表本数：125本
- 内訳
- ・教育奨励賞受賞者……………5
 - ・教育機関研修員……………10
 - ・内地留学生……………7
 - ・一般応募・奨励賞応募者……51
 - ・チャレンジ研修・すばる……6
 - ・教育センター各研修部等……6
 - ・教育センター研修員……………40

教育コラム

教育研究発表会に参加して

努力の結晶
— 研修員の研究より —

フォトインフォメーション

指導主事の横顔

お知らせ掲示板

教育コラム

子どもの力をより伸ばす

副所長 中村 和樹

平成14年度からの小・中学校の新学習指導要領の全面実施を目前に控え、文部科学省から、確かな学力向上のための2002アピール「学びのすすめ」が公表され、指導に当たっての5つの具体的な方策が示されました。

これを教員研修の観点でとらえると、各学校では次の3つの課題を解決しなければならないこととなります。各学校での準備は整っているでしょうか。

- ① 発展的な学習を扱う際の内容、程度、方法等の指導プランの検討
- ② 基礎基本の定着を確認し、よさを伸ばすための評価規準の作成
- ③ 家庭や地域社会での学習を視野に入れた指導計画の見直し

これらの課題を踏まえ、当教育センターでも14年度からの講座内容の見直しを図っていますので、実践例を持ち寄っての積極的な参加を期待します。

当センターへのお問い合わせ・ご意見・ご要望はEメールもご活用できます。

■ 研修全般は…tch20400@akita-c.ed.jp
■ 学習指導は…tch25295@akita-c.ed.jp

■ 情報教育は…kna@akita-c.ed.jp

石川好氏の「私に見えた秋田の県民意識」の講演を聴いて

男鹿市立男鹿東中学校
教諭 合田 徹

四季がはっきりしている所に住んでいたり、基幹産業は国の統制を受けた米作りだったりすると、人間はどうしても「待ちの姿勢」になってしまう。

待ちの姿勢を正し、改革を進めるためには「外部の人間を取り入れる」ことが重要である。

大韓航空やワールドゲームズを例にあげながら、改革のための示唆に富んだ講演内容だった。

すばるディスカッションについて

秋田県立図書館
副主幹 山崎 博樹

秋田県の教育の未来像を描くというテーマを与えられ、1年間12名のメンバーで話し合った結果を報告した。

今回は10の施策提言の中から教育エコマネーとベンチャーチャレンジ教育の推進について詳しく紹介した。秋田県としても新しい取り組みであったため参加者からも活発なご意見を頂く事が出来た。詳細については下記へ。
www.pref.akita.jp/kyosomu/subaru.htm

教職研修部研究発表を聴いて

雄勝町立横堀小学校
教諭 佐藤 智美

学級経営の基本的な考え方を明らかにし、その充実を図るポイントについて実践例も交え示していただいた。

学級の子供たちの様子に自分の学級経営が透けて見え反省することがある。

研究発表を聴き、その反省点にこそ「さあ、次はどんなアレンジをしようか。」と思いを巡らす楽しさが潜んでいることを改めて気付かされた。

教職研修部
研修員
佐藤 整

評価を活用し、豊かな心をはぐくむ学校行事の在り方

平成14年度から新学習指導要領が全面実施となる。それに伴う各校の最も大きな課題は、総合的な学習の時間の実施と教育課程の再編であると思う。それに伴い、教科や特別活動の見直しも行わなければならない。

現在、教育内容の厳選や総合的な学習の時間の導入が行われ、学校行事に充てる時間が大幅に削減される中、各校では今後学校行事をどう扱っていったらよいか苦慮していると思われる。そこで、学校行事をとりまく課題を明確にし、児童一人一人の豊かな心をはぐくむことを視点に評価の在り方を研究した。

学習指導要領や実態調査をもとに、まず取り組んだのは評価の観点と規準の作成である。それをもと

に指導計画を作成し、学校行事の展開を考えた。順序が逆のようだが、学校行事を通してこんな児童を育てたいという願いをしっかりとって学校行事を展開するのである。そして、学校行事で培った体験や交流の経験が児童一人一人にとって生きる力となるように、活動や成長の様子を把握する資料の作成を試みた。

研究の成果として、児童の個性を伸張し、自発的・主体的な態度を養いながら、多様な体験や交流を取り入れていく今後の学校行事の在り方について理解を深めることができた。児童は楽しい学校生活を送るために、学校行事に大きく期待している。その期待に応えられるように今後も研究を深めていきたいと考える。

女子
の系

情報教育研修部
研修員
加藤 敏光

中学校理科「地球と宇宙」の学習で、生徒の空間把握を支援する3Dリアルタイムシミュレーションの開発

中学校理科「地球と宇宙」の単元は、3次元の空間把握を基にした考察によって学習が展開される場面が多く、空間把握を苦手とする生徒にとっては難しいものとなっています。ここでは、自由かつ連続的に視点移動ができる3D（立体）の太陽系シミュレーションを作成し授業に活用することで、生徒の空間把握を助け個々の思考と理解を支援することをねらいとしました。

開発言語は、多くの市販ソフトの開発に使用されているC++。DirectXと呼ばれるWindowsのマルチメディア機能を拡張する部分をコントロールすることで3Dアニメーションを実現し、太陽系全体の場面と6つの学習場面から構成されています。全部で5,000行のプログラムになりました。

総合教育センターの協力校の好意で、本単元の補充・強化として実施した授業の結果、事前・事後テストの問題通過率の伸びは1.7倍と極めて顕著でした。有意差検定により、学習を得意とする生徒以上に、普通あるいは苦手とする生徒に効果がある授業であったことを確認しています。事後アンケートも望ましい方向に顕著に偏っており、操作性も問題なく、成就感と自信を獲得できた生徒の姿がうかがえます。

本シミュレーションは、総合教育センターの「教育情報データベース」からダウンロードが可能です。動作条件：①3D機能対応のグラフィック・アクセラレータ。②DirectX8以降がインストールされていること。

総合教育センター研修員の研究より

教科研修部研究発表を聴いて

仙南村立仙南東小学校
教諭 長澤 れい子

指導力の向上と学校の活性化、基礎学力の向上を目的とした2年継続研究の初年の発表でした。その中で、基礎学力の内容とそれを身に付けさせる学習の在り方を社会科と算数・数学科を例に提案されました。これまで漠然としていた基礎学力について明確化されてきたように思います。詳細や他教科については研究紀要の刊行が待たれるところです。

情報教育研修部研究発表を聴いて

大館市立矢立中学校
校長 清野 克子

普通教室等で「分かる授業」を実践するために、コンピュータやインターネットなどの情報手段をいかに効果的に活用するか、を視点にした研究発表でした。

今後、授業や学習活動への活用を日常化していくために大事なことは、ねらいに即した学習用コンテンツの吟味・検討と著作権について周知徹底を図ることだと思いました。

特殊教育・相談研修部研究発表を聴いて

八森町立観海小学校
教諭 後藤 加奈子

研究テーマが特殊学級新担任への支援の在り方ということで、アンケート結果により新担任が抱える困難点を明らかにし、分析、そして支援の在り方が示されていました。

今年度新担任だった私にとって、日々生じる困難に対応するにはどうすればよいか、必要な情報を必要な時にどうすれば得られるのか、大変参考になりました。

一人一人が持てる力を総合的に働かせ、創造表現の能力やデザインの能力を高める高学年「造形遊び」の指導の工夫

教科研修部 研修員 大山 満子

これまでの図画工作の授業を振り返ってみると、新しいものをつくりだしたり、工夫して表したりする場面になると、活動がなかなか進まない児童の姿がありました。また、つくりだす過程における構成のよさや美しさに気付いている児童も少なかったように思います。そこで、表し方を試み、工夫して表す創造表現の能力や表したいもののよさや美しさなどを考え、ものをつくりだすデザインの能力を高めるために、高学年「造形遊び」の学習における題材や支援の工夫に取り組むことにしました。

題材は、児童の実態をもとにして考え、1つ目はモール、針金などの線材と階段、2つ目は木の葉や花びらなどの自然材と学校の周りのお気に入りの場所、3つ目はペットボトルと遊具を設定しました。

表し方や材料は可能な限り児童が選べるようにし、材料や活動場所が徐々に広がる配列にしたことで、児童は無理なく活動に取り組み、自分らしい表し方を工夫する姿が見られました。また、造形的なよさや美しさを導入の視点にして示したり、言葉かけの中心に置いたりしたことにより、視覚的効果や構成の美しさなどについて児童の意識を高め、造形感覚を働かせることにも効果があったと思われます。

今回の研究で、活動の過程において、児童が何を感じ、どんな力を働かせているかを知ることが大切であると実感しました。児童が発揮している資質や能力を読み取る力を高めることを目指し、今後も研修していきたいと思えます。

人のかかわりに困難を有する子どもへの音楽的な活動を通じた支援

特殊教育・相談研修部 研修員 藤原 滋

自閉症などの発達障害児の不適応行動を改善するために、「子どもに合わせて子どもの自力を引き出すかわり」や「愛着形成への援助」を唱える論文に接して、私は子どもとのかかわりを見直したいと考えた。そこで、「大人と子どもが、子どもの興味・関心に寄り添った快適な体験を共有することにより、二者の間に愛着が成立し、この関係性の中で、子どもの持つ課題が解決されるのではないか。」という仮説を立てて、実践研究を行った。

子どもの気持ちを尊重し、子どもにイニシアチブをもたせるかわりと、歌や楽器の演奏などの音楽的な活動を通じたかわりによって、子どものコミュニケーションの力を引き出す支援が可能であることを明らかにすることができた。言葉による交流が

できないK子のトランポリンに合わせて『ララルー』を弾き歌いし、やがて一緒に歌えるようになった時、また、同じくT男と自作の『おわりの歌』や打楽器のやりとりができた時は、自分が音楽をやってきて本当に良かった思った。

障害児教育の現場では、専門性が必要であることは言うまでもないが、本研究で明らかにした「子どもの文脈に合わせて子どもの世界に入っていく」という大人の援助の姿勢は、実は、健常児が成長の過程で示すつまづきに対する支援の在り方と根本的には変わらないと感じている。これから出会うであろう子どもたちとの新たなかわりが待ち遠しく感じられる。

【スタディイン総合教育センター】

田沢湖町立生保内小学校の児童たちが算数の授業で図形の辺の長さや角の大きさを調べているところ



【全県に広がる「科学する心」】

小学校理科実験充実プランのための研修を行う高等学校理科実習教員



フォト
インフォメーション

佐藤 公喜

新任研究主任、新任学年主任、特別活動、TTなどの講座を担当しているのは教職研修部5年目の佐藤指導主事です。研究主任や学年主任はかつて自分も経験しているので、悩みはよく分かると言います。それゆえに、受講者の立場に立った講座づくりを目指しています。前任校の中で印象深いのは開校時から5年を過ごした秋田市の寺内小学校だそうです。高清水の豊かな自然の中を子供たちと散策したのが忘れられないそうです。その時の教え子が初任研受講者となり、嬉しさややりがきが半々だったと話してくれました。

今田 智範

今田指導主事は情報教育研修部に所属し、「電子メール」や「計測と制御」をはじめとするコンピュータ関連の講座の他に、技術・家庭科の技術系列の講座を受け持っています。講座では受講の先生の向こうにいる子供たちのことを常に念頭に置いているそうです。12年前からセンターのすぐ近くに住んでいます。もともと12年前、当地にはセンターも住宅街もなく雑木林が広がっていたそうです。前任校は男鹿東中学校。生徒の反応がよく、楽しく授業ができる学校だったそうです。

紹介
します

指導主事の横顔

三浦 義則

教科研修部で社会科、地歴公民科を担当しています。担当講座でユニークだったのは、エスニック料理を作り、それをもとに食文化、そして地理や世界史へと発展させる講座でした。教師自身が指導内容を十分に体験・理解して授業に臨まなければならないとの思いから教材化したそうで、演習、実習や巡検を意図的に取り入れています。

山形県生まれ。父親の転勤で5歳からは秋田県へ。県内各地を転々としたことが専門の地理への興味を高めたそうです。趣味は家庭菜園。たくさん収穫し、皆に分けてくれます。

江橋 美紀子

特殊教育関係と幼児教育関係を専門とする江橋指導主事の願いは、より多くの先生方に講座を受講してもらいたいこと。県外から講師が来てくれる講座はなおさらだそうです。

前任の勝平養護学校では重度の障害がある子供から、通常の教育の教科書を使用する子供まで幅広い指導が求められたそうです。趣味は手作り体験をすることですが、いつも障害のある子供と共に取り組めるものを求めています。特に草木染めは、思わぬ色合いに出会えて子どもと楽しめると言います。

お知らせ掲示板

- ▼ 平成13年度の総合教育センター各部の研究をまとめた研究紀要は、3月中旬に県内各学校に1部ずつ送付されます。多くの方に読んでいただきたいと願っています。
- ▼ 平成14年度の研修講座は、授業改善のため、今まで以上に模擬授業研修や主体的活動を重視します。また、学級・ホームルーム経営における諸課題の理解と解決に向け、経験年次別研修講座の内容の充実に努めます。さらに、教育評価に関する研修講座の充実に努めます。
- ▼ 来年度の希望研修講座案内を配布します。新たに講座の主な内容を記載しましたのでご覧ください。